



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

<p>実態：小学校 高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝起きにくく、遅刻や欠席が目立つ。 ・家族に注意されたことを素直に聞き入れることができず、癪癪を起こす。 ・整理整頓が苦手な宿題や持ち物の忘れ物が目立つ。 ・話を聞いていないと注意をされることが多い。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の予定を把握し行動(スケジュール管理)できるようになる。 ・自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。
---	---

<p>通級での指導・支援</p> <p>自己理解を進めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SST <ul style="list-style-type: none"> ・実際に起こった出来事(学級担任や保護者からの聞き取り)の場面設定を行い、ロールプレイを行う。 ・ロールプレイを通して自分の行動を客観的に捉え、好ましい行動について考える。 ・好ましい行動をとるための目標を設定し、目標達成のための具体的な手立てについて考える。 ・毎週、目標が達成できたかどうかを振り返る。 ○ 『あたし研究』の本を読み、著者と似ているところについて考え、自分の得意なことや苦手なことについて考える。 <p>自分の予定を把握し行動できるようになるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 忘れやすいことや時間管理、整理整頓などの目標を達成するために『実行機能カステップアップワークシート』を使い、自分について評価したり、具体的な手立てについて考えたりする。 <p>自分の思いや考えを言葉で伝えられるようになるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トランプ、ボードゲーム、羊毛フェルト等で小物づくりをしながら、会話する。 	<p>通常の学級での指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳がきちんと書けているか確認し、忘れ物がなかった日には、家庭にも分かるようにスタンプを押す。 ・目標ができていれば通級の連絡帳を使って評価する。 ・学級の中でのがんばりを口答で本人に伝えるとともに通級の連絡帳に記入する。(評価の可視化)
--	--



あたし研究



実行機能カステップアップワーク

<p>通級での変容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学校生活や家庭で困っていることを指導者に言葉で伝えられるようになった。 * 自分の苦手なことへの対処の仕方が分かり、前向きに取り組めるようになった。 	<p>通常の学級での変容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 遅刻せずに登校できるようになった。 * 話をしている人の方を見て、話が聞けるようになった。 * スケジュールや持ち物などを忘れないためにメモ帳を活用するようになった。 * 友だちと過ごす時間が増えた。
--	---



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年

- ・友だちへの関わりが受動的で、能動的な関わりが苦手である。
- ・困ったときに、動かず静かに涙を流すことが多い。

長期目標

- ・自分から友だちに関わっていくことができたり、困った時に助けを求めることができたりするなど、好ましいコミュニケーションがとれるようになる。

通級での指導・支援

自信を付けるために

- ・自分を大切にするという気持ちで名前を丁寧に書く。
- ・『聞きとりワークシート』、『コグトレ』、点つなぎ、学習プリント(読み書きプリントや復習プリント)などをする。

自分がんばれる課題に取り組むことで、一人でできることを意識させる。
→次の活動(友だちとのつながりでがんばる課題)とのメリハリを付ける。
課題に向かう姿勢や集中している態度などを、随時、具体的にほめる。
→自信を付けて自尊感情を高める。

困ったときに「助けて」と言えるように

- ・SSTの課題(誘い方や断り方など)やサイコロトークキングなどの活動を通して、お互いのことを考える時間をつくる。
- ・発言の際に「分かりません」「次の人お願いします」など、援助要求の言葉を例示し、言うことができたときに必ずほめる。

『友だちと仲よくすごすためのスキルアップワーク』より

自分から友だちと関わって楽しむために

- ・[がくしゅうすごろくゲーム]、カードゲーム、ボードゲームや協力して体を使う遊びなどをする。



活動の振り返りをするために

- ・良かったこと、できたことを中心に言語化する。

がくしゅうすごろくゲーム

通常の学級での指導・支援

- ・ペア学習やグループ学習など、友だちとやりとりできる授業形態を取り入れる。
- ・体育の時間に「体ほぐしの運動」「身体接触のある運動」等を積極的に取り入れる。
- ・週に数回、学級遊びをし、意図的につなかりをつくる。
- ・本児が友だちとつながれるように場面設定を工夫する。例えば、少人数で行える作業を取り入れたり、うまくつながって楽しめたときや困ったことを伝えてきたときには、ほめたりする。
- ・何が良かったのかを具体的に伝えることを継続する。(成功体験を言語化し、強化する)

通級での変容

- * 困ったときに、動かなかったり涙を流したりすることがなくなった。
- * 休み時間に一人でいることが少なくなり、自分から友だちに関わっていけるようになった。
- * 「～がしたい」「～はしたくない」等、意思表示がはっきりしてきた。
- * 活動時の表情が豊かになり、笑顔も多くなってきた。

通常の学級での変容

- * 数人の輪に入り、友だちと遊ぶことが多くなった。また、遊ぶ約束をして帰宅することが増えてきた。
- * 通常の学級での友だちとの遊びを通して、好ましいコミュニケーションがとれるようになってきた。